

「業務用厨房向けIH中華レンジ」の概要

1 仕様

表1 開発品の仕様

型式			
モデル		DC-17SA	DC-18SA
外形寸法 (mm)	間口 (W)	600	
	奥行 (D)	750	
	高さ (H)	800	
電気仕様	定格電圧	3φ200V	
	定格消費電力	7kW	10kW
	一次側最大電流値	23A	32A
適用鍋		φ330中華鍋	φ390中華鍋
本体質量		100kg	100kg
価格 (税抜き)		698,000円	798,000円



写真1 開発品の外観

2 主な特長

① 大幅な低価格化

並列同期運転方式では、電気的特性（抵抗など）の等しい 5kW のコイル 2 台を並列接続し、各コイルに流れる電流の振幅、位相、周波数を同期制御して、出力調整します（図 1）。

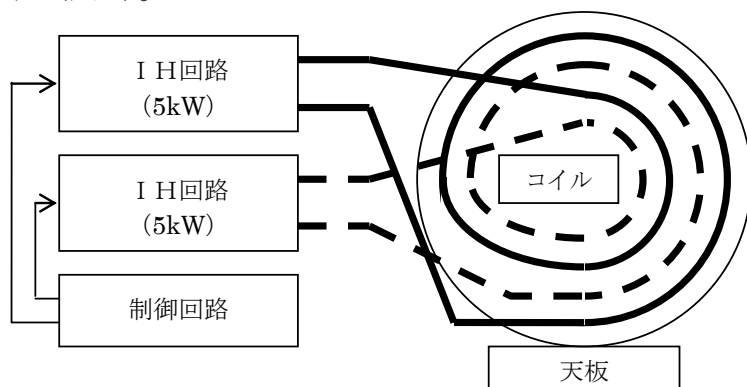


図 1 並列同期運転方式の構成図

これにより、高火力を維持しつつ、従来の I H中華レンジ（10kW）と比べ、機器価格を約 7 割削減しました。

機種	機器価格	運転方式	I H回路
開発品	約 80 万円	並列同期	5kW×2 台
従来品	約 250 万円	単独	10kW×1 台
削減率	約 7 割		

② 中華鍋を振りながら調理が可能

従来の I H中華レンジでは、中華鍋を天板から離すと、コイル（写真 2）に流れる電流が急激に増加し I H回路が破損するため、加熱を停止していました。

本開発品では、鍋を天板から離れたときのコイルに流れる電流値を、鍋を天板上に置いた状態と同程度に制御することにより、加熱を停止する必要がなくなり、鍋振り調理を可能としました。



写真 2 コイル

③ 安全性の強化

天板の中央に排水穴（写真 3）を設け、吹きこぼれが天板に溜まらない排水構造（写真 4）としました。



写真 3 排水穴

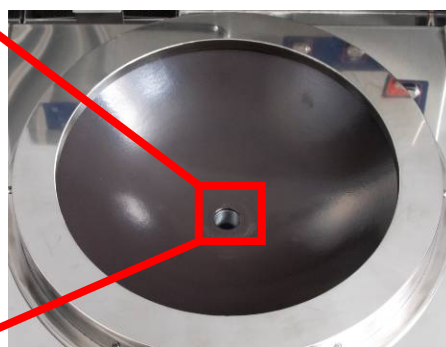


写真 4 天板排水構造